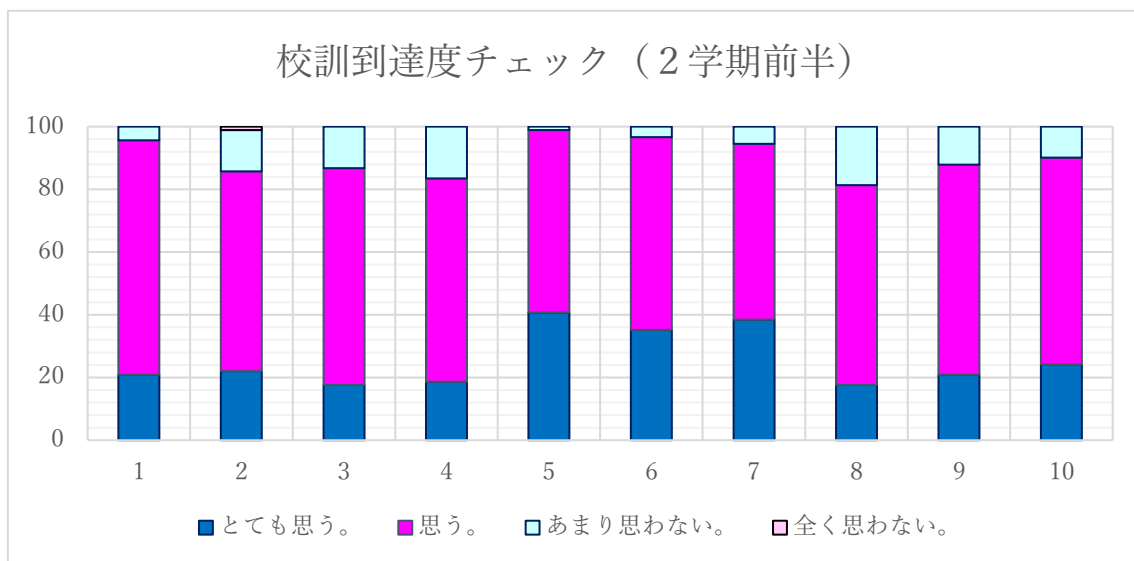




9・10月の分析 ※（ ）は肯定意見の割合% ○今年度重点目標

1学期は毎月行っていた『校訓到達度チェック』ですが、「活動の期間が1ヶ月では短いのではないか。」という反省のもと、2学期は2ヶ月おきにチェックし、改善していきたいと考えています。今回は、『2学期前半』となります。

5 他の違った意見や考え方を尊重できた。(99%)

⑥ 思いやりをもって調整できた。(97%)

1 規律ある生活を送ることができた。(96%)・・・1学期結果比より5.6%アップ

7 他と協力し、安心して思う存分に活動することができた。(95%)

10 今後の活動の改善策を整理できた。(90%)

夏休みが明け2学期がスタートし、学級組織づくり・合唱コンクール・市中総体（駅伝）・修学旅行準備（2年）・連合音楽会と保育学習（3年）及び生徒会活動（専門部別による朝そうじ）など、常に組織の中で活動することが多かった成果だと思います。

自分の役割を自覚し、他と協力し、活動する姿勢は、学校では不可欠なものです。

⑧伝統を活かし、あるいは、前例にとらわれることなく、工夫できた。(81%)

・・・1学期結果比より7.7%ダウン

4 自分に合った目標を設定し、学力定着のために計画的に努力できた。(84%)

・・・1学期結果比より9.5%ダウン

② 自分の考えをしっかりと表現することができた。(86%)

3 自分に合った目標を設定し、自分の役割を果たすことができた。(87%)

9 結果をしっかりと受け止め、その成果を明らかにできた。(88%)

・・・1学期結果比より5.1%ダウン

スムーズに2学期がスタートし、学校生活でも落ち着いた生活態度で、概ね良好な結果となりました。しかしながら、1学期結果比よりも大幅にダウンした学力定着・工夫・成果については、今後の大きな課題となりました。

11月は「ココロねっこ運動強調月間」であり、規律面や学力（基礎的・基本的な内容）面の充実を図っていきます。また、2年生では修学旅行が実施され組織力が試されます。

12月人権週間（実際は11月上旬の講話からスタート）、生徒会役員選挙と人権感覚や中学校の伝統を考えなければいけない時期ともなります。また、学期末であり、まとめと反省同時に3年生から1・2年生へのバトンタッチ（伝統継承）となります。

それぞれの学年としての飛躍を、おおいに期待しています。

※生徒自身の自己評価能力を高めていきましょう。また、中学校では、自己指導能力をもたせるように、支援・助言・指導し続けています。